

## Special Remedy

### ➤ Adamas ダイヤモンド

主要原産国：ロシア、アフリカ

4月の誕生石

石言葉：永遠の絆・純潔・不屈

地質学：ダイヤモンドはマントル起源の火成岩に含まれる。ダイヤモンドは炭素の同素体、ダイヤモンドは光学的に等方性を持つ鉱物で基本的には透明である。自然界に存在する。物質の中で最も硬い。

メインテーマ：光と影

ダイヤモンドという名前は、ギリシア語の「征服し得ない、屈しない」に由来する。

レメディーの原料：ダイヤモンドダスト

精神的側面： 働き者で野心家である反面目立ちたくない

外ではスーパーキャリアウーマン、家では良きお母さんであり妻  
自分の存在価値一成し遂げたこと

・多くの矛盾を抱える

例) ゆっくり/せっかち、忍耐強い/我慢できない、おしゃべり/話  
したがらない、パワーがある/パワーがない、寒く感じる/体温  
は高い

・自己価値の低さからくる守られていない感覚

・見られたり、聞かれたり、観察されたくない

・「真実」が鍵を握る

・いつでもどこでも正直であること、他者にも同じことを求める

・真実への大望は、明晰で鋭く嘘を受け入れない

・自分自身の存在を主張する必要がある、知り合いでもなく、自分と無関係な誰かのあら捜しをする

・一つの事をやり続けることができない

・仕事が好きでない

・仕事によって Identity (自己) を明らかにして、忙しいとより輝くという性質

・外ではいわゆるキャリアウーマンとしての印象を大事にして、家庭では「良きお母さんであり、良き妻である」という家庭でのニーズに固執してしまうが故に本当のニーズを見失いやすい

・光を映し出す才能がすごい、一方で光がないと輝けない「黒い石」→「光と影」を表してもいる

## ➤ Amethyst アメジスト

主要原産国：ブラジル

2月の誕生石

石言葉：誠実・心の平和・高貴・覚醒・愛情

地質学：組成は二酸化ケイ素。照射する光のスペクトル組成によって、見た目の色を大きく変化させる、加熱すると色の変色が起こり、宝石名としてはシトリンとなる

メインテーマ：第6、7チャクラに対応するレメディ、オーラの保護

旧約聖書の『出エジプト記』に、高僧の胸当てに飾られている12種類の宝石の1つとして登場する。苦しみを歓喜に変え、調和を生み出す。霊的な側面としては、私たちそれぞれを取り巻くエネルギーフィールド（オーラ）を保護。また、瞑想をする時にも効果的。

アメジストの名前はギリシャ語の『アメズストゥス』に由来し、“酔うことのない”を意味します。この石は酔いを醒ます効果があると考えられていました。

シュタイナーの神秘学的な見地から見たアメジストは、

- ・平和、調和、正しい直観力を伸ばす
- ・瞑想が正しく行われるのを助ける、神とのつながりを容易にする
- ・病気になる理由や自分の行動の真の理由を明らかにする
- ・出生時に呼吸をしていない新生児を助ける等の意味を持ちます。

身体的側面：アルコール依存症など、あらゆる中毒、睡眠障害、神経系、呼吸の問題、頭痛、

精神的側面：・ハートを開き、Nat-m や Syph のように閉じたひとたちに生命力を呼び戻す。  
・古い悲しみを取り除く・霊的な攻撃から身を守る。  
・チャクラを浄化し、免疫機構を強化・浄化する。  
・不安と緊張  
・自信がなく、物事を完遂できない。

## ➤ Ayahuasca アヤワスカ

中南米の先住民のシャーマンが儀式の時に用いていた。幻覚作用のある物質を含む蔓性の木。

メインの性質：ハート、胸腺、眉間のチャクラ、あらゆる形の邪悪な影響を浄化する、先祖から伝わる、憑依による、恐れ、悲嘆、恐怖、憎悪

作用：オーラとチャクラの浄化、霊的な気づき、すなわち高次の精神を促す、直感力を養う、遠隔治療の能力を高める、このレメディは愛と謙虚さを持って使用されなければならぬ

いし、純粹で、且つ真実の光をもたらす仕事をしている人によってのみ正しく用いられなければならない

死にゆく人を助ける、もう生き続けるべきでない定められているにも関わらず、生きることになんとしてもしがみつこうとする人

全般：生と死のレメディ、汚染された水系を浄化する、壊死する傾向、壊疽を起こす感染症、黒ずみ、ただれ、浮腫性の症状、筋痛性能脊髄炎、ポリオ、ふるえを伴う麻痺、エイズ、あらゆるタイプの癌、女性特有の癌

感情：二面性（黒と白、コントラスト、感情の極端な起伏、絶望と至福）、激しい恐怖と落胆、病気への恐怖、癌を恐れる、太陽神経叢にある手に余る勇気と無鉄砲さ、深い悲しみと痛み、自己嫌悪、平穏と静けさをもたらす、生き延びるために今あるすべてのレベルにこだわるが、同時に過去にもしがみつく傾向、常に不調和な状態、集中困難、

身体：目（白内障、網膜の円錐体と桿状体の病気）

肺（軟組織の消耗、特に右肺、肺気腫と肺の虚脱）

心臓（先天性の心臓の問題）

腹部（吸収、同化、排出の問題、不完全な同化による栄養失調、様々なアレルギー）

男性：男性のレメディ、性虐待に良い

四肢：ふるえと筋肉の消耗、痩せ、肉の落ちた人、傷をおった組織

## ➤ Moon stone ムーンストーン（月長石）

主要原産国：スリランカ

6月の誕生石、蟹座の守護石、

石言葉：恋の予感、純粹な恋

メインテーマ：悪霊を祓い、予知能力を高め、ストレスを和らげ、愛をもたらす。

古代、ムーンストーンは薬とされ、腫瘍、むくみ、浮腫、腎不全などの治療に使われていました。昔の賢者は、月夜にムーンストーンを口に含んで未来を予言しました。

チャクラとの関係：第2チャクラと第5チャクラに関係が深い。第2チャクラ（仙骨チャクラ）は、水をつかさどり、腎臓などと強いつながりを持ち、また先祖の持っているエネルギーとの関係があります。先祖から持ち越した未解決の問題を抱えている人には、最初にこの第2チャクラを綺麗にするレメディが必要ということになります。

そして、この家族の問題に関係する第2チャクラを浄化するためには、第5チャクラ（喉のチャクラ）が活性化している必要があります。

身体的側面：女性生殖器、腎臓、妊娠中、不妊症（男性側の場合は、放射能が原因のことが多い）、女性の不妊症は、「この男性との間に本当に子どもを作りたいのか」についてきちんと答えが出ていないのが原因、睡眠の問題、浮腫やむくみ（体内の水分アンバランス→生理不順が体の浮腫となっている場合、母乳の量の適正化）

精神的側面：・感情的ストレスの解放、悲しみ（長年蓄積されてきたトラウマ）

例）人に裏切られた経験からくるトラウマ＝陰の悲しみ →内向的になる

他にも侮辱された、理解されなかった、誤解された、受け入れてもらえなかった、肉体的虐待、性的虐待

- ・家族関係や婚姻関係など、関係の絆が破棄されたり、拗れていたたり、こんがらがっていたりする場合
- ・男性で自分の中の女性性に触れようとしない人
- ・たくさんの恐れ（特に胎児期の痛みやストレスに関連）、年齢を重ねること、  
老化、認知症になる、暗闇、幽霊など
- ・明晰に思考できない、学習障害の子ども
- ・母親から強力な影響を受けている人

## ➤ Rainbow 虹

※プリズムに通した太陽光線をアルコールに投射して作られました。

キーワード：調和と浄化、透明性と露出

地球上のあらゆる分野におけるネガティブなエネルギーを取り除く、すべての水、海洋の浄化

チャクラ：全チャクラに影響を与え、バランスを整える

一般：放射線被害に立ち向かう

ホットフラッシュ、寝汗、日中の汗

感染症：Ferrum レメディーや Phos レメディーと

片側の痺れ、だるさ、麻痺など

くすぐったい感じ

妊娠中にも安心

右側

感情：自殺願望を持つような落ち込み（Aurum レメディーや Syph レメディーなど）

脳の片方から片方への橋渡しの役割

すべてが分離、分割されている一統合失調症、躁うつ病など  
妄想  
支離滅裂（6×を常に服用すると良い）  
グラウンディングの欠落した状態での予期不安  
精神的に、魂レベルで、身体的に虐待を受けた人  
安全だと感じられずに絶えず動いている、根を下ろせない人  
不機嫌な十代  
宗教にのめりこむ  
我慢できない  
正しい言葉をつかむため

身体的：直線的な頭痛、こめかみ、右側、耳、耳下腺、首、三角筋へ向う直線。頭が右  
方向に向く  
遺伝的な視力の低下、羞明、水っぽいネバネバした目  
心臓を強くする  
循環をよくする、動脈硬化、血栓  
肺の疾患  
皮膚病（乾癬）

### ➤ Rosequartz ローズクォーツ（紅水晶、バラ石英）

主要原産国：ブラジル

10月の誕生石

石言葉：平和・愛の告白・真実の愛・美

地質学：不純物として混入している微量のチタン、鉄、マンガンに由来するとされます。

メインテーマ：ハートチャクラのレメディー、感情的な苦痛や悩みを抱えている時に良いレメディーです。

急いでいる人をスローダウンさせる働きもあります。ピンク色の暖かみのある石に見えますが、実はクールな石です。冷静で客観性があるということです。逆にいうと、いつも頭を使い思考ばかりしている知的な人のためのレメディーでもあります。科学者にとっても良いレメディーということになります。直感と知性のバランスを取ろうとしてくれるレメディーです。また、芸術的活動を好む人にもよく合います。さらに、人生の中での変化にある人に効果的です。

身体的側面：循環器系が弱い人、動脈硬化や高血圧（原因は主に感情的な問題で）、喘息や呼吸器系疾患（呼吸の浅い人：交感神経と副交感神経のバランスを取り戻す）

精神的側面：

- ・ジレンマを抱え葛藤している心に有効選択肢がいくつかあるけれど、心の中にいろいろな葛藤があって、一体どれを選べばいいのかわからない状態（真面目すぎる、ユーモアのセンスがなくなっている、新しく出会った人と関係が築きにくい）自分の人生には何か間違ったところがあるという、説明できないような思いを持っている
- ・孤独・孤立・隔絶のレメディー。孤独感はコミュニケーションできないのが原因→方向性を見失った状態、ルーティンワークをしているときは安定を感じる。また、他人から評価されていない、認められていないという思い。
- ・子どもに良いレメディー（特に両親が問題を抱えている、両親が自らそれを癒そうとしないために子どもが代わりに親を癒してあげようという責任感を持つ）
- ・深いところで傷ついている状態を助ける（**Nat-mur** に似ている）。他人と適切にコミュニケーションできなくなっているわけ
- ・道に迷っているような他者と切り離されてしまったような感覚→落ち着きがない、いつも旅行をしている、引越しをしている、常に動き続けていないと気が済まない。
- ・世界に対して扉を閉ざしている→自殺癖 「自殺するとしたら、あなたはどうかやって死にますか？」と聞くと、この人たちは「薬で死ぬ」と答える
- ・老化への恐れ、年を取ると誰も自分を愛してくれなくなる
- ・不安でいつもそわそわしている、「やらなきゃいけない」と落ち着きのない状況、「やることはいつもたくさんあるのに、時間はたったこれだけしかない」という感覚を持っている物事を始める時は高いエネルギーがあるが、すぐに落ちて低くなる肉体のエネルギーが低下すると、強いストレスと欲求不満を感じて深く落ち込む→心ここに在らずの状態
- ・段々と自信喪失（自分に対する信頼や自信を失う）、自分の内側の悩みや苦しみを隠そうとするなぜかというももし言ったとしても誤解されたり間違った解釈をされるのではないかと恐れているから

➤ **Radiation combination** ラディウムコンビネーション

3.11 の東日本大震災の時にオーダーで作ってもらった放射線被曝用のレメディー、Radium brom, Plutonium, Strontium, Caesium の 4 種類の放射線コンビネーション

➤ **Lotus 蓮**

ロータスは、スイレン科に属し、世界中の淡水で見られる多年性

レメディーは、ヒンズー教のスワーム（聖者）によって清められたインドのハスから作られて

いて、崇高な重要性を持っている

主要点：普遍的なヒーラー、トラウマとショック、赦し

奥義：東洋と西洋の融合、平和とグラウンディング、融和

平和と赦し、内なる喜びを解き放つ、浄化と光と愛、融合をもたらし、魂から体レベルまであらゆるレベルを明るくする。瞑想（ハイヤーレベルにアクセスするための瞑想の前に取ると良い）、ヒーラーやセラピストのために（彼らの強さを維持して、ハートを開いていられるようにミッションを果たし、融合できるようにエネルギーをグラウンディングさせてオーラを閉じておくように）

チャクラ：第4ハートチャクラを中心に…

無神論：神（天）が見えない、聞こえない人に良い。

赦し：本当の赦しを求めて、自由と解放に立ち向かっている人に、愛を受け取るのが難しい人に

ミッション：使命の選択とエゴ、ミッションの気づきをもたらす

癒し：レスキューレメディ的役割、宇宙的癒し、深い癒し、癒しが与えられ高いレベルで受け入れられる、痛みを取り除く

癌：あらゆる癌に… 強い影響力、痛み

一般：誕生と死、霊性と肉体、痛みのある自己の欠如、身体の分離感、加熱、緩慢な（熱が出たり下がったり）、毒消し（珈琲の影響に対して）、腺と中枢神経の統合

精神：忘却と引きこもり（世界から）、肉体との関係（肉体を持っていることをやめたい）、薬物中毒、記憶（潜在意識の情報にアクセスする）

感情：虚栄心、エゴ（外見上、よく見えることに気を遣いすぎる）、自尊心が低い、見にくいと感じる、失敗を感じている人々、癌が進行している人、とても霊的な展望を持っている人、出産時の感情（出産時のトラウマ的感情）、現在・過去・未来（現在に生きていない人）、精神的興奮

身体：顔が暖かい、前頭部に痛み、副鼻腔のつまり、空っぽ、白内障、耳垢がネバっとしている、呼吸が浅い、皮膚の痛み、疥癬と湿疹、足と足首がいつもおかしい、淋病マヤズムの痛み（特に足）、衰弱（足首の）脱臼しやすい、ふくらはぎがヒリヒリジンジンする、脊椎破裂、骨に強い親和性

マヤズム：淋病マヤズム、梅毒マヤズム

その他：前進しようとする人、妊婦も安心して使える、クリームに混ぜて火傷や皮膚のトラブルに

## ➤ Camphora 樟脳

精神：

・孤立感：孤独、疎外される、人、罰せられることが多い、自分が死んでいるとい

## う妄想

- ・一人で居ることが怖い：暗闇が怖い、助けを求めて泣く、1人にしないでと他人にしがみつく

## 一般：虐待から病気

- ・＜抑制：例）性的欲求、発疹、汗、分泌物、＞大量の汗  
＞汗が出るまで速く歩く、今にも起こりそうな危険を曖昧にする
- ・反対の症状または、交互に出る症状：特に体温に関して。寒いと鬱、暑いと興奮
- ・寒さ：収縮、虚脱、痙攣
- ・寒さとともに青くなる、青く感じる、物が青く見える
- ・表面が非常に冷たいが覆われたくない。非常に暑いまたは汗をかくが覆われないことを嫌がる。
- ・喉が渇かない、または非常に喉が渇く
- ・＜夏
- ・＜冬
- ・神経質から不眠
- ・眩暈：頭が重い、頭が後ろに傾く
- ・カタルと頭痛、突然の天候の変化から
- ・発疹：陽に当たることから

## 食べ物

- ・嫌い：タバコ、じゃがいも
- ・好き：冷たい食べ物、タバコ、ビール、スープ、冷たい飲み物
- ・悪化：珈琲、冷たい飲み物、魚、肉、ムール貝、甲殻類

## 引き金となる要因

- ・怪我からのショック、抑制された発疹、冷たい空気、日射病、疲労、手術

## レメディの相関関係

- ・Camphora を打ち消すレメディ：Dulc., Op., Phos. (珈琲紅茶で打ち消されることはない)
- ・Camphora は他のレメディのほとんどを解毒する